

【評価実施概要】

事業所番号	170200455		
法人名	医療法人社団 豊生会		
事業所名	グループホーム すぎの子		
所在地	〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目13-29 (電話)011-789-5177		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成22年1月14日	評価確定日	平成22年1月26日

【情報提供票より】(21年12月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年 5月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤21人, 非常勤 5人,	常勤換算3.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 1~3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000~40,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷 金	有(家賃の3カ月分)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月30日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	10 名	要介護4	4 名		
要介護5	4 名	要支援2			
年齢	平均 85.8 歳	最低	70 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東苗穂病院 東苗穂たんぼぼクリニック Doケア歯科クリニック
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム玄関前には掲示板を設置し、健康・衛生・介護に関する情報や入居者の作品等を地域に発信し、啓発や広報活動に役立っている。人材育成については、事業所内研修・法人内研修・外部研修と、職員個々のスキルアップを図る研修体制が充実している。さらに年2回の人事考課を実施し、効果を上げている。実習生やボランティアの受け入れ等の実績を積み、運営母体が医療法人なのも利用者や家族にとって安心感がある。緊急時対策としては、定められた防災訓練の他、人工呼吸法やAED使用法を学び、緊急脱出時の利用者誘導は、担架・車椅子・独歩に色分けし、町内会の協力も確保している。地域と共にグループホームの歴史を作っている大変評価できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の取り組み事項は全職員で検討し改善されているが、さらなる充実を期待する。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者・職員は自己評価及び外部評価を実施する意義をよく理解しており、外部評価の結果を活かした取り組みが進められている。自己評価・外部評価は誰でもが手に取り、見られるように各ユニットに掲出している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議では、町内会長・家族代表・地域包括支援センター職員・ホーム長・職員が参加し、行事予定と報告、利用者の近況・防災計画・地域との交流・勉強会等、地域密着型事業所としての活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上と事業所の運営に活かしている。議事録は整備され、各ユニットに掲出している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	写真入りのホーム機関紙を定期発行している。機関誌には、利用者個々の状況を書き込める欄があり心温まる通信になっている。また家族の訪問時には近況を報告し、必要に応じ電話連絡もしている。金銭管理については、金銭出納帳にサインをもらい領収書を渡しており、家族にとって必要な情報が伝達されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入している。地域とのつながりを大切にし、盆踊り・資源回収等の町内会行事には積極的に参加している。地域の人達も母体法人主催の文化祭に参加する等、良好な関係を築いている。管理者は町内会の役員会に出席し、地元の人々と交流している。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念『ゆっくり・一緒に・楽しく・豊かに』は玄関・各ユニット・スタッフルームに掲示している。他に事業所独自の年間目標『地域と関わりながら、安心して暮らせるホームを作る』も作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念や目標を理解し、理念にそった関わり合いを大切にしている。理念は研修会・カンファレンス・リーダー会議等で話し合いの場を設け、常に確認しながら実践に向け日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入している。地域とのつながりを大切に、盆踊り・資源回収等の町内会行事には積極的に参加している。地域の人達も母体法人主催の文化祭に参加する等、良好な関係を築いている。管理者は町内会の役員会に出席し、地元の人々と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は自己評価及び外部評価を実施する意義をよく理解しており、外部評価の結果を活かした取り組みが進められている。自己評価・外部評価は誰でもが手に取り見られるように、各ユニットに掲出している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、町内会長・家族代表・地域包括支援センター職員・ホーム長・職員が参加し、行事予定と報告、利用者の近況・防災計画・地域との交流・勉強会等、地域密着型事業所としての活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上と事業所の運営に活かしている。議事録は整備され、各ユニットに掲出している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市管理者会議・市グループホーム協議会・区管理者連絡会などに参加し、情報交換・意見交換し研鑽している。職員は情報を共有化し、常に利用者本意のサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>写真入りのホーム機関紙を定期発行している。機関誌には、利用者個々の状況を書き込める欄があり、心温まる通信になっている。また家族の訪問時には近況を報告している。必要に応じ電話での報告もしている。金銭管理については、金銭出納帳にサインをもらい領収書を渡しており、家族にとって必要な情報が伝達されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関・各ユニットには意見箱を設置しており『家族会』もある。また日頃から家族との交流をはかり、気楽に意見・要望を話せるような雰囲気作りに努めており、来所時の会話の中から家族の思いを受け入れ、ケアに反映するよう心がけている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職は少なく安定している。法人内異動は職員の希望により行われることがあり、引継ぎを十分行い、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。ユニット間異動は職員と利用者の馴染みの関係作りに効果があり、利用者が他のユニットを訪問しても、馴染みの職員が居ることで安心している。家族へは機関紙や来訪時に報告している</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	月に1度の事業所内研修、年5～6回の法人内研修、さらに事例検討会も行い、働きながら学ぶ体制が充実している。外部研修はスタッフルームの掲示板で公表し、知識や経験に応じた参加の呼びかけをしている。また研修参加後は『研修報告書』を作成し、勉強会で報告する等、全職員が共有出来るようにしている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	運営母体の医療法人は多くの福祉施設を運営しており、人事交流・研修会・相互訪問が日常的に行われている。他の同業者との交流も盛んで、札幌市グループホーム協議会・東区グループホーム管理者連絡会に出席し交流を重ね、サービスの質の向上を目指している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前には利用者・家族の事前相談や見学で不安を解消する取り組みをし、施設や自宅に担当者が出向き面談する等、利用者と家族が安心・納得できるように配慮している。今までの生活習慣を大切に、家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	人生の先輩として、趣味等の得意分野で力を発揮してもらうための場面設定に配慮・工夫をし、利用者中心の生活をしている。常に尊敬の念を忘れずに感謝の気持ちを持つよう心掛け、共に学び支えあい喜怒哀楽を共有出来る関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を使用した、アセスメントを行っている。日々、共に暮らしていく中での、会話や様子から希望や思いを把握し、困難な場合は家族に相談し、何をしたいか、どのように暮らしたいか、誰に会いたいかの視点に立ち、本人本位の生活ができるように支援している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>生活を共にする中で、より良く暮らすためのニーズや希望を汲み取り、利用者・家族の意見や要望を元に、アセスメントを行なっている。カンファレンスや情報交換などで十分協議を重ね、意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。日々の状況は、水分や食事摂取量・バイタル等の健康状態を記録し情報を共有している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しを行っている。毎日の状態を詳細に記録し、毎月のモニタリングで検討しているが、変化が生じた場合は随時見直しや変更を行ない、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療機関の送迎や、外出・日常的な散歩・買い物など、利用者・家族の状況や都合に応じ事業所の多機能性を活かし柔軟な対応をし、個々の満足度を高めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者希望のかかりつけ医には、入居後もそのまま受診できる。また病状や症状に合った病院を受診でき、常に適切な医療が受けられるように支援している。協力病院医師による月2度の訪問診療・週1度の看護師による健康管理をしている。緊急時には医師・看護師とは24時間体制で連絡が付く。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>『重度化した場合・看取りの対応ホームとしての指針について』は文書化され、説明している。終末期の対応として、本人・家族の意向をふまえ、主治医・看護師と話し合い、全員で方針を共有しながら進めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>人生の先輩として一人ひとりの尊厳を大切にし、常に尊敬の気持ちを忘れず接している。何気ない言葉や語調がプライドを傷つける事がないように、対応に注意した支援を行い記録等の個人情報については責任ある取り扱いに留意し、事務所で厳重に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の生活の流れはあるが、毎日の決まり事はなく、自由に過ごしている。利用者個々のペースを大切にし、充実した時間を過ごせるよう希望に沿った支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好や健康状態・身体状況に合わせた献立を工夫している。買い物・準備・後片付け等、三度の食事に関する一連の流れは、職員と共に楽しみながら行っている。職員も同じ食卓に着き、食事が楽しいものとなるような雰囲気作りを心がけている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯や曜日を決めず、一人ひとりの習慣やペースを大切に、入浴希望日に入浴している。入浴を好まない利用者には、タイミングや言葉掛け・対応を工夫し、さりげなく入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片付け・菜園作り等、得意分野で知識を発揮する場を提供している。外食・ドライブ・地域行事参加等の楽しみ事や、気晴らしの支援も積極的にしている。また家族参加の『食事会』も行われ、日々喜びや張りのある生活が送られるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりのペースを大切に、日常的に買い物・近隣散策・菜園作り等で、戸外に出かける機会を作り、個々の希望にそえる外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠はしておらず、深夜のみ施錠している。利用者の行動傾向を把握し、見守りや声かけ支援で鍵を掛けない自由な暮らしを実践している。全職員は鍵をかけることの弊害を理解している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の元、年2回防災訓練を実施しており 防災マニュアル・緊急時対応マニュアルも整備されている。さらに不測の事態に備え、人工呼吸法・AEDの使い方の研修もしている。消防法に基づきスプリンクラーの設置を準備している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を個々に記録している。食欲が出るよう見た目にも美しく盛り付けし、一人ひとりの身体・咀嚼・嚥下状況に合わせカロリー・栄養バランス・塩分摂取に気を配った食事を提供している。管理栄養士に相談している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の壁には利用者の作品や行事写真を飾り、テレビ横には季節感のある生花が活けられ、生活感や季節感に配慮している。温度や湿度・臭気にも気を配り、居心地の良い生活空間を作り、廊下には一人になれるように椅子やソファが置かれている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	8畳間の居室は古くから使い慣れた、馴染みの家具・調度品・生活用品を各家庭から持参し、家族写真も飾られ家庭的な雰囲気の中、安心して心地よく過ごせるよう工夫している。また居室入口にはスタッフ手作りの温かみのある表札が掛けられ、混乱を防ぐ対策もしている。		

 は、重点項目。